

## 水戸城：大手門、二の丸角櫓の復元

(茨城県水戸市)

水戸城周辺は古来より政治・経済の中核であった。近世には御三家水戸藩の居城として発展したが、廃藩置県後の火災や第二次世界大戦等により、歴史的建造物の多くが失われた。

平成 21 年、他市の古刹より水戸城城門のものと伝わる扉が水戸市に寄贈され、これを契機に復元に向けた機運が高まった。市民からの寄付を受け、市は9年をかけて学術調査を実施し、城跡のランドマークとなる水戸城大手門や二の丸角櫓及び土塀を復元整備した。

工事費用には「一枚瓦城主」による募金も充てられ、官民協働による事業となった。



復元整備後の大手門

before



after



学術調査の結果を基に復元された二の丸角櫓

## 【事業に関する情報】

- ・平成 22 年から学術調査を行い、大手門と二の丸角櫓の復元整備を実施
- ・大手門と二の丸角櫓周辺の土塀の整備
- ・二の丸角櫓へアプローチするための通路の整備

## 【事業関連データ】(計画認定：平成22年)

**事業名**  
水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業

**事業実施重点区域名**  
水戸市歴史的風致保存・形成区域

**事業主体** 水戸市

**事業期間** 平成28年～令和3年

**活用した補助金**  
国土交通省  
・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

## 事業の実施に伴う土地・建物の取得

- ・土地：取得(購入) (約14,000㎡)

## 文化財等の指定状況

- ・水戸城大手門、二の丸角櫓、土塀及びその敷地：景観重要建造物
- ・水戸城大手門及び二の丸角櫓：歴史的風致形成建造物
- ・水戸城跡(塁及び濠)：県史跡
- ・水戸城跡：市史跡

## 【有識者からのコメント】

水戸城跡は部分的に県や市の史跡とされるが、大手門及び二の丸角櫓の跡地は特段の評価を得ていなかった。このため、復元に活用できる文化財関係の補助金をみつけることができなかったという。本事業は、文化庁の指針に適合した計画内容を、国交省の予算で実現した事例である。市は、二の丸の未指定範囲を平成 28 年に市史跡とし、市文化財保護審議会の指導助言を受けながら9年間の調査を行った。復元工事は、現状変更許可を得て行われ、その進捗はホームページ等で公開されてきた。市民の浄財と関係者の努力が結実した成果として、竣工後には土塁や敷地とともに景観重要建造物としたことも高く評価できる。(下間)